

株主のみなさまへ

ほっとらいん

第94期中間

事業概況

平成29年4月1日～平成29年9月30日まで



お客様の最適な
エネルギー利用をサポート

目次

ごあいさつ	2
事業の概況	3
• 販売電力量の概要	
• 収支の概要	
第2四半期決算の概要	5
トピックス	7
会社情報	14



■当社社員（中央）による提案活動の様子

お客さまのパートナーとして、省エネやコスト低減につながるご提案を通じ、最適なエネルギー利用をサポートしてまいります。



取締役会長 海輪 誠

取締役社長 原田 宏哉

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を
たまわり、厚く御礼申しあげます。

ここに当社第94期中間事業概況（平成29年度
上半期）をご報告申しあげます。

当年度の第2四半期決算（連結）は、経費全般
にわたる徹底した経営効率化に継続的に取り組
んでいるものの、燃料費調整制度のタイムラグ影
響などから、経常利益は前年同期を下回る529
億円となりました。また、親会社株主に帰属する
四半期純利益は345億円となりました。

中間配当金につきましては、上記の決算の状況
や財務体質の回復状況などを総合的に勘案し、
1株につき20円とさせていただきます。

平成28年4月にスタートした電力の小売全面自
由化に伴う競争の進展に加え、平成32年4月には
送配電部門の法的分離が予定されているなど、当
社を取り巻く経営環境は激動の只中にあります。

一方、地域に目を移しますと、東日本大震災から
6年が経過し、インフラを中心に復旧・復興に一
定の進捗が見られるものの、被災された方々の生
活基盤はまだ完全に回復しておらず、復興は未だ
道半ばにあると認識しております。

こうした事業環境のなかにおいても、コーポ
レートスローガン「より、そう、ちから。」のもと

でお客様や地域社会のご期待にお応えしつつ、
当社企業グループが持続的に成長していくため
の道しるべとして、今年1月に、「東北電力グループ
中期経営方針（2017～2020年度）」を策定いたし
ました。現在、本方針で設定しました電気事業、
海外事業、ガス事業の目標達成に向けて、取り組
みを加速しております。

当社といたしましては、お客様から引き続き
選択いただくため、お客様にとって魅力のある
新料金プランや新サービスの開発・充実、企業グ
ループ一体となったトータルエネルギーソリュー
ションの拡充などをはじめ、将来の成長に向けた
事業展開や投資を通じて、さらなる企業価値の向
上に努めてまいります。

また、引き続き被災地の地元電力会社として、
電力の安定供給を通じて復興を下支えすると
ともに、東北6県と新潟県の将来の発展に資するプ
ロジェクトや地域活性化施策を積極的に支援する
ことで、地域の復興・発展にこれまで以上に真心
を持って取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層の
ご理解とご協力をたまわりますようお願い申し
あげます。

平成29年11月